

ご縁の国しまねの半農半Xのすすめ

H22年から農業を営みながら他の仕事にも携わり、双方で生活に必要な所得を確保するしくみ、いわゆる「半農半X」を島根らしい田舎のライフスタイルとして推進しています。

R5年4月現在、76名の方が実践中！ ※塩見直樹 半農半X 研究所長が提唱。2012年、塩見氏より了解を得て使用。

半農半X実践者となる主な要件

- ✧ 県外からU I ターンしようとするもの、又は住民票を移動して概ね1年以内
※産業体験、市町村研修事業、地域おこし協力隊従事期間は除く
- ✧ 農業経営開始時の年齢が原則65歳未満
- ✧ 一定規模以上（市町村の定める半農半定住Xモデル、農業所得が20万円～100万円程度）の営農を行う予定であること
- ✧ 原則として6ヶ月以上の農業研修を実施すること

実践者への助成メニュー

島根県の自然の豊かさや人とのつながり等に魅力を感じて生活する半農半X者の定住・定着を支援します！

① 就農前研修経費助成事業 **最長1年間**

- ◆ 就農前の研修に必要な経費等 12万円/月を助成
- ◆ 県が認める研修機関、市町村が認めた受け入れ農家で研修



② 定住定着助成事業 **最長1年間**

- ◆ 就農1年目の営農に必要な経費等 12万円/月を助成

③ 半農半X開始支援事業

- ◆ 営農に必要な施設・機械整備の経費の 1/3を助成
(補助金上限100万円)



④ 営農を開始して5年以上定住し、営農を行わないと助成金返還となります



※ふるさと島根定住財団の産業体験事業(1年以内)お試し移住。実践者の約7割が活用

半農半X実践者の概要



カテゴリー	具体的なXの例 (※複数回答有)	実践者数
半農半農雇用	農業法人勤務、集落営農勤務、加工所勤務	32名
半農半蔵人	酒造会社(蔵人)	5名
半農半除雪	スキー場、高速道路除雪	8名
半農半サービス	道の駅、コンビニ、ホームセンター勤務等	32名
半農半自営業	庭師、左官、カメラマン、家庭教師、ハンドメイド	10名

その他：介護、IT関係在宅勤務、漁業等 (2021年3月時点)

【市町村別内訳】 (人)

松江市	4
浜田市	9
益田市	3
大田市	3
安来市	2
江津市	4
邑南町	10
美郷町	3
津和野町	7
吉賀町	27
西ノ島町	2
知夫村	2
計	76

実施していない市町村もあります
(2023年4月時点)

半農半X実践者の声

半農半蔵人により大好きな酒と酒米を造りだしたIターンのNさん



Nさんが、農業に取り組もうとしたきっかけは、東日本大震災を機に「自分で食うものを作っていれば何があっても強い！」と考えたことからでした。色々就職先を探している時、半農半蔵人という面白いプランが島根にあることを知り、お酒が好きなこともあって、この形で就農を決めました。

春から秋は、野菜と酒米づくり、そして冬は酒造りというライフスタイルで、「仕事は辛いけど、同じ辛いことなら自分がやりたいことがまだ楽しい」と思いながら、半農半蔵人を実践しておられました。現在では、農地を7.5haまで拡大し、飯米と酒米の両方を生産しつつ、災害時用の備蓄食開発など新たな販路を精力的に開拓しておられます。

【問い合わせ先】

(公財)しまね農業振興公社(0852-20-2872) 島根県農山漁村振興課(0852-22-5118)